



福島県立梁川高等学校

平成 29 年 12 月 18 日

校長通信

Team Yanagawa

vol. 16

■ 導かれ来し一卓の胡蝶蘭 (後藤夜半)

職員室南側の窓辺に胡蝶蘭の鉢植えが置かれています。これは 10 月に創立百周年記念事業実行委員会が発足したことを祝って、元校長の T 先生の奥様から頂戴したものです。T 先生は東日本大震災後の平成 23 年 8 月から同 26 年 3 月まで、3 年 5 ヶ月の長きにわたり本校の校長として勤務されました。T 先生は生徒に対しては常に思いやりの心と高い志の大切さを説き、温厚な人柄で教員から慕われる存在でした。また卓越した指導力を発揮し学校経営にもあたられました。退職後は趣味の陶芸や旅行を楽しまれていましたが、今年の 2 月に不帰の人となってしまいました。私は着任後ご霊前にご挨拶をしてきましたが、T 先生からお話を聞くことができなくなり残念でなりません。このたび思いがけず立派な胡蝶蘭をいただき感謝の気持ちで一杯です。胡蝶蘭の花言葉は「幸福が飛んでくる」です。今は亡き T 先生が梁川高校を見守りながら、生徒達に幸福をもたらしてくださることを願っています。



■ 校内マラソン大会のアナザーストーリー

10 月 22 日に行われた校内マラソン大会におけるエピソードを紹介します。大会当日は大型台風 21 号が接近し大雨が降るあいにくのコンディションでしたが、生徒諸君は三浦弥平杯ロードレース大会に参加した選手と同じコースを走り、びしょ濡れになりながらも全員が完走しました。本校のある女子生徒が 3 キロを走り終えた後、疲労困憊して梁川分庁舎に戻って休息していた時のことです。一人の女子中学生が傘を差しながら入ってきました。よく見ると女子中学生は傘を差していない方の手に豚汁を持っていたため、傘を畳むことができずに立ち往生していました。その様子を見ていた本校の女子生徒は疲れ切っているにもかかわらず、女子中学生に近づくと傘を畳んで手渡してあげました。女子中学生はようやく手の自由が利くようになり、落ち着いて豚汁を食べることができました。

実はこのエピソードを私に知らせてくださったのは、梁川中学校の校長先生です。わざわざ本校にお見えになり報告してくれました。片手に傘、片手に豚汁を持って困っていた女子中学生は、ロードレース大会に出場した梁川中学校の生徒さんでした。その一部始終を見ていた中学校の顧問の先生が、自分が疲れているのに中学生のことを心配して手を貸してくれた本校の女子生徒の優しさに感動し、この出来事をぜひ梁川高校に伝えて欲しいと校長先生に申し出たのでした。顧問の先生によれば、本校の女子生徒は体力を消耗し切っており、他人の世話をする余裕があるとは思えない状態だったとのこと。本校の女子生徒の行動が顧問の先生の心を揺さぶったのです。女子中学生に救いの手をさしのべた女子生徒が誰なのか、まだ分かっていませんが、きっと思いやりの心を持った優しい生徒に違いありません。このように相手の置かれた状況を理解し、相手の心情を思いやる想像力を行動に移すことは案外難しいものです。私は本校の女子生徒の姿を思い浮かべるとき、心がほのかに暖くなるのを感じます。このエピソードはマラソン大会で生まれたもう一つの物語でもあります。



保護者の 皆様へ

日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。いよいよ 12 月 21 日から冬季休業に入ります。学校として冬休みが子供さんにとって有意義なものになるよう、次の点について指導しますのでお知らせします。①計画的に自主学習に努めること、②規則正しい生活を送ること、③事件やトラブルに巻き込まれないよう注意すること、④気持ちの緩みから問題行動を起こさないこと、⑤交通事故に注意すること、⑥健康管理に十分留意すること。ご家庭でも上記 5 点についてご指導いただきますようご協力をお願い申し上げます。また年末年始の休みを利用し、子供さんとゆっくり話す機会を作り、学校生活や進路について耳を傾けていただきたいと存じます。

■ 私たち教員も校内研修で学んでいます

12月5日、県教育センター教育相談チームの遠藤潤指導主事をお招きし、校内研修を行いました。内容は「いじめの未然防止と人間関係づくり」です。前半は「いじめ防止対策推進法」について概要を把握すること、後半はいじめの未然防止に役立つ人間関係づくりの手法を体験的に理解することがねらいでした。生徒を取り巻く社会の変化やいじめ防止対策推進法の概要について、先生方は真剣に耳を傾けていました。また、ペアとなり事例からいじめか否かを考察する演習や、ソーシャルスキルトレーニングの演習に積極的に取り組んでいました。本校でこれまで蓄積してきたノウハウと研修で身につけた知見を生かして、いじめの未然防止に組織的に取り組んでいきます。



■ インターンシップ事前指導が行われました

12月7日、2年生を対象にインターンシップの事前指導が行われました。第1回目は校長と学年主任の話に続いて、進路指導主事よりインターンシップの心構えと今後の日程について説明がありました。本番は年明けの1月23日から25日までの3日間です。インターンシップとは、地域の企業や事業所において実際に仕事を体験することで望ましい勤労観と職業観を育成する取り組みです。私からは自分の将来のために覚悟を持つこと、梁高生を代表して参加すること、生徒諸君の取り組みが梁川高校の評価につながることを肝に銘じるよう話しました。いよいよ進路決定に向けた取り組みが本格的に始まります。



■ 性教育講座が行われました

12月5日、1年生を対象に性教育講座が行われました。佐藤道子養護教諭による講義は、ドラマ「北の国から」の動画を素材にして、性の問題についてグループで話し合ったり、ワークシートを活用し生徒に考えさせたりするものでした。周到に準備された展開は生徒の思考・判断を上手く引き出しており、「性の問題について適切な意思決定ができる力と責任ある行動ができる力を育てる」というねらいを十分に達成していました。性の問題に関する適切な判断力は、生徒諸君がこれから幸せな恋愛をし、確かな人生設計をする上で不可欠です。学校としても引き続き性の問題について指導を継続し、よりよいものにしていきたいと考えています。生徒諸君は愛することには「責任」が伴うこと、愛とは相手の心を受けとめることを学びました。



■ 県音楽アンサンブルコンテスト

12月8日、福島市音楽堂において県音楽アンサンブルコンテストが行われ、音楽部が出演しました。演奏曲は「Veni, veni, Emmanuel (来たれ、来たれ、救世主)」。ラテン語の聖歌で難しい曲ですが、練習の成果は十分に発揮し美しいハーモニーを披露しました。今回、音楽部以外の生徒の助けも借り、のびのびとした歌声を会場に響かせ奨励賞をいただきました。



■ あづま荒川クロスカントリー大会

12月10日、第20回あづま荒川クロスカントリー大会が行われ、陸上部の渡邊泰幸君と堀越雄乃君が出場しました。福島市のあづま陸上競技場をスタート・ゴールとする自然に囲まれたコースを力走しました。二人には冬場にしっかりとトレーニングを積み、来シーズンに向けて力を蓄えて欲しいと思います。



お知らせ

今年も生徒会が中心となり赤い羽根共同募金運動に協力させていただきました。今月11日には生徒会長の原瑚堂君から伊達市社会福祉協議会の佐藤由美様へ募金をお渡ししました。



ワックスがけが行われました

今月8日と15日、生徒諸君の協力のもと厚生保健委員が中心となってワックスがけが行われました。おかげで教室、廊下、階段等の床がきれいになりました。今後も清掃を徹底し、生活環境を整えていきたいと思っています。



モップで作業する厚生保健委員